育てあい、育ちあう

広報 NO2

わかば

２０２０年７月号

社会福祉法人わかば会　盛岡市西松園３丁目１９－６
発行責任者　鈴木浩太郎
☎：０１９－６６１－３１０３
fax：０１９－６６２－５１２９
http//www.wakaba-kai.or.jp

法人の理念

＊ 社会福祉法人わかば会は、子どもの人権を尊重し保護者と協力しながらその健やかな成長のために尽くすとともに、保護者が安心して子どもを預け働ける環境づくりに努めます。
＊ 未来の主人公となる子ども達の権利を尊重し、豊かな乳幼児期を保障することを基本とし、保護者の皆様と一緒に保育を創っていくことを大切にしてまいります。
＊ 子どもが本来持っている能力を引出し、豊かな感性を育み、一人ひとりが仲間の中でゆっくりじっくりと自分を育てていけるような保育環境づくりに努めます。
＊ 子育て支援や地域福祉の向上を目指し、地域の子育ての拠点となるよう努めます。

法人運営施設

■わかば保育園　■本宮保育園　■うえだ保育園
■北松園風の子保育園
■がんちゃんすくすく保育園
■宇宙学童クラブ　■ 第二宇宙学童クラブ

年長児合宿（７月9日～10日）

さぁ夏です！年長組の子ども達が野外キャンプに出かけました。イワナづかみにも挑戦です！つかまえたイワナは命のありがたみを感じながら、炭火で焼いておいしく頂きました。

卒園式

思い出の絵を胸に卒園しました。

２０１９年度卒園児数/累積卒園児数

わかば保育園	１８人/７８０人
風の子保育園	１３人/３４８人
本宮保育園	２４人/２０４人
うえだ保育園	１９人/１９人

春はドロだんご作りに夢中

新しい生活に慣れてきた頃、子ども達の大好きなドロ遊びも始まりました。ピカピカのドロだんごはみんなの憧れ。どれが一番光ってるかな？

入園・進級式

新しい年度の始まりです！！コロナ禍で縮小となってしまいましたが新しい仲間を迎え、入園・進級式が行われました。

卒園児が訪問

今年の春、小学校を卒業した卒園児たちが卒業証書をもってきてくれました。

コロナ禍と保育を思う

卒園を祝う会を控えた３月、普通の日常が消えた。学校は休業になり、保育園では大人もマスク姿があたりまえ。保護者との会話も保育園での滞在時間も最短で済ませ、淡々と連絡事項を伝える日々。突然のコロナ禍は日常の保育を一変させた。

０・１歳児の新入児の慣らし保育も十分にできないまま、集団生活がスタートした。子どもたちを安心させようとするが、マスクが表情を隠してしまう。

春の行事の入園進級式も全体懇談会も遠足もいつも通りにはできず、毎月の誕生会は最小かつ最短で行い保護者の参加と試食もない。今まで、「保護者とともに保育を創る」ことを大切にし、子育ての喜びを分かち合ってきたことが困難になるとは想像もしなかった。

感染防止と保育の両立という悩みはいつまで続くのだろう。保育は「３密」でないとできない。直接触れ合って声を聴き、泣いている子を抱き上げて優しく声をかける。子どもと一緒に遊ぶからこそ相互の信頼関係が深くなる。「３密」の中での保育時間の長さも気になる。

保育施設が感染源になってはいけないとの緊張の中で保育は続く。補助金がほしいわけではないけれど命がけで保育しているわりには、学童と保育所は軽く見られていないか？

子どもの育ちは社会全体で支えているということ、保育施設は社会維持に必要な施設であり、保育者の地位向上、保育士の魅力発信をこれからも訴えていきたい。

ほいくえん紹介

わかば保育園

4月に7名の新しいお友だちを迎え今年度がスタートしました。

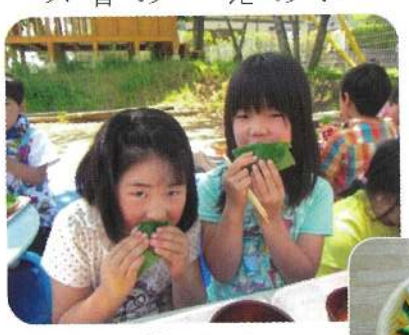
そして7月現在で93名のわかばっこです。

赤ちゃんたちはフカフカのクローバー畑に腹ばいになって遊び、春のにおいを感じて過ごし、小さいクラスのお友だちは、園庭中を歩いて探索し、ダンゴムシやアリ探しに夢中です。大きいクラスのお友だちは草花ジュースづくり、散歩先でのお尻滑りや森の中の探検なども楽しんでいます。

田植え（5歳児）

今年はたいよう組が米作りに挑戦しました。春に種もみの芽出しに成功し、種まきを終え、じゃぶじゃぶ池を田んぼにしようと土づくりから代掻きまでみんなで取り組みました。

いよいよ5月の「田植えまつり」。職員の「花笠音頭」でスタートし、自分たちが育てた大事な苗を丁寧に田んぼに植えていきました。


田植えまつり

毎日の水の管理も年長児の仕事として取り組んでいます。

いよいよ季節は夏。天気の良い日には、散歩先で見つけた自然の恵み「桑の実」や「モミジイチゴ」を少しだけ味わったり、水や泥にたっぷりと触れ、泥まんじゅう屋さんごっこなど、ダイナミックに遊んでいます。

住所：西松園３－１９－６
☎：019-661-3103
fax：019-662-5129

北松園風の子保育園

日に日に夏を感じる今日この頃。園庭のトチの木の葉も、子どもたちが隠れるくらいの大きさになり、おばけや羽うちわにして楽しんでいます。

松園の大自然の中で、散歩を満喫中の子どもたち。あちこちの森や山では、桑の実やもみじいちごご、グミも熟し、くさんのふきを採ってきました。大きなふきを担いでいる様子を見た小さいクラスの子達は「すごいな～」と、興味津々でした。その後、自分たちでクッキングを行い、季節の味を堪能しました。

トロトロジュースだよ（３歳児）

大きなふき大収穫（5歳児）

そして、雨上がりの日は、絶好の泥遊び日和。園庭のあちこちで、“トロトロ～”の泥ジュースやケーキを作ったり、穴を掘ってダムにしたり…泥んこが顔についてもへっちゃら！友だちと一緒に、全身を使ってダイナミックに遊んでいます。美味しく味わいながら散歩を楽しんでいます。

たいよう組は今年も大きなふきを探しに出掛け、自分より背の高いふき林の中をどんどん進み、たくさんのふきを採ってきました。

住所：北松園４－１－５
☎：019-663-2217
fax：019-663-2256

本宮保育園

3月に24名の卒園児を送り出し新入園児15名を迎え１３４名でスタートしました。

小さいクラスは、散歩車にのったり、友だちと手をつないで歩いたり散歩を満喫。大きな木の陰にかくれてのおばけごっこを保育者や友だちと楽しんでいます。大きいクラスは、裸足で園庭をかけまわり泥んこあそびや砂あそびに夢中になっています。

年長児きりん組は、毎日おもちゃ洗いや石拾いなどグループごとに掃除の当番を決め、声をかけあって頑張っています。

木のかげからベロベロバ～（1歳児）

とくに、うさぎのお家の掃除はどの子も楽しみで、トイレの新聞紙替えや水の交換も役割を決めてはりきっています。

ふわちゃん（ウサギ）のお家は、春に卒園児の大工のおじいちゃん（工藤さん）が作ってくれた白木の素敵なお家です。

ふわちゃんの新しいお家は子どもたちも大喜びで、さっそくお家におじゃまして、ふわちゃんの気分に浸たり楽しんでいます。

「ふわちゃんごはんですよ」と散歩先で採ってきたクローバーやタンポポをあげ、ふわちゃんが新しい環境に慣れるよう大事に育てています。

うさぎのふわちゃん　新しいお家とともに

住所：本宮４－３８－１０
☎：019-636-1446
fax：019-636-2156

うえだ保育園

新緑がまぶしい季節となってきて、保育園周辺の自然の中の散歩を十分楽しんだ子ども達。今年は、コロナ禍の影響で保育参加も中止となってしまいましたが子ども達はミニ遠足を行い緑豊かな自然の中の探検を十分に楽しみました。

うわぁ～！　もみじいちごがいっぱい

いよいよ迎える暑い夏を前に園庭の改修工事が始まりました。

園庭には念願の畑や田んぼが出来上がり、遅ればせながらも田植え祭りを行いました。

工事中にショベルカーが運ぶ黒土を見ていた年長組の子ども達。「泥団子に使えそう！」と、おじさんたちの所に駆け寄って黒土をもらい、さっそく泥団子作りに夢中！！。

また、お花をすりつぶしてのジュースづくりや泡立て遊びも始まりました。

夏祭りごっこ　いらっしゃいませ～

6月末に変更となった夏祭り（ごっこ）では、年長組の子ども達がお店屋さんになって、金魚すくいや水ヨーヨー、泡立てクリームジュース屋さんなどで盛り上がりました。

住所：高松１－９－４３
☎：019-661-1234
fax：019-601-8058

がんちゃんすくすく保育園

がんちゃんすくすく保育園の子どもたちは０歳児～２歳児の小さなお友だちが元気いっぱい過ごしています。

０歳児のお友だちは寝返りや、腹ばいからハイハイが出来るようになるなど今までできなかったことが出来るようになり、成長が著しく日々喜びの連続です。

最近はお友だちと一緒に腹ばいになり、絵本の時間も楽しんでいます。保育者が絵本のページをめくると手足をパタパタ動かしニコっとかわいい笑顔を見せてくれます。

１、２歳児のお友だちは保育園のままごとコーナーが大好きです。

赤ちゃんも絵本大好き

「ぼくはのりまき！わたしはサンドイッチなの！」２歳児

がんちゃんには、開園当初から保育士が作った手作りおもちゃがたくさんあります。中でも人気なのは、いろいろな食べ物に見立てられるフェルトのおもちゃです。

黒いフェルトで丸めてのりまきになったり、ぱちんとホックでとめて餃子やシュウマイになったり。「ドーゾ」「ドーモ」とお友だちと一緒に言葉のやりとりも楽しくて盛り上がっています。

住所：上田３－１８－１４
☎：019-601-3822
fax：019-601-3823

宇宙学童クラブ

現在、宇宙学童は東小27名、松小６名の計33名、第二学童は北小23名の子どもたちが在籍しています。

新入所は12名でした。

昨年の３月の休校措置からバタバタと春休みを迎え、あっという間に夏休みに突入する時期までやってきました。

新型コロナウィルスの影響により手洗い、うがいの徹底をしながら学年別、グループ別での生活をしてきました。それでも、友だちと学童で過ごせる時間は楽しいものです。

外では木登りやけいどろ、一輪車、泥んこ遊びをしながらたくさん遊んでいます。

６月にはグループごとにキュウリ、枝豆、トマトの苗を植え、今は水やりをしながらその収穫を楽しみにしています。

夏休みはまほら岩手への遠足も計画中です。暑い夏も宇宙っ子パワーで乗り切って行きたいと思います！

住所：西松園３－１８－１２
☎：019-662-1113

2020年度スタート

２０２０年度の事業計画が第１６５回理事会で承認されました。依然として待機児童が解消されず、子どもや保護者を取り巻く環境は改善されていません。子どもたちによりよい保育をめざし、同時に園開放、育児講座など地域とのふれあいや地域貢献にも積極的に取り組みます。

「平和こそが最大の福祉」との立場から未来ある子どもたちのために戦争のない平和な社会をめざし役職員一丸となって取り組みます。

わかば会事業計画

○ 職員の資質の向上と人材確保に取り組みます

＊職員がゆとりをもって働き、子育てと仕事の両立があたりまえとなる働き方の見直しを進めます。

＊「わかばの保育」の実践をめざし園内研修を実施します。

＊保育士の確保と正職員化をめざします。

○ うえだ保育園の円滑な運営に努めます

＊市立保育園の民営化で受託し２年目になるうえだ保育園は、９４%の保護者が満足していると回答。
さらに地域、保護者から評価される保育園をめざします。

＊ 園庭整備を行います。

○ 地域との連携を図り地域貢献に努めます

＊子育て支援の拠点として、園開放、子育て相談、介護施設や病院等の訪問に取り組みます。

＊学童保育料への独自の軽減策（単身世帯対象）、わらび座による演劇鑑賞会（地域の方を招待）、おひさまキッチン（子ども食堂）への財政支援を進めます。

○ 本部体制の確立と財政基盤の安定を図ります

＊本部体制を確立し各施設との効率的な役割分担をすすめます。

＊適切な財務管理、会計処理をすすめます。

わかば会の動き

＊ 3月２５日　第１６５回理事会
令和元年度４次補正予算承認
令和２年度事業計画・当初予算承認

＊ 6月１２日　第１６６回理事会
令和元年度決算の承認

＊ 6月２６日 令和２年度定時評議員会
令和元年度事業報告・決算の承認

（１６６回理事会）

財務状況報告

社会福祉法人わかば会　2019年度決算

事業活動収支計算書
自２０１９年4月1日　至 ２０２０年3月３１日

（単位:円）

勘定科目			決算額
サービス活動増減の部	収益	保育事業収益	571,119,716
		経常経費寄附金収益	537,680
		その他の収益	3,557,190
		サービス活動収益計(1)	575,214,586
	費用	人件費	450,296,687
		事業費	56,386,317
		事務費	36,781,228
		減価償却費	37,530,261
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 21,591,097
		サービス活動費用計(2)	559,403,396
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		15,811,190
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	9,004
		その他のサービス活動外収益	15,496,905
		サービス活動外収益計(4)	15,505,909
	費用	支払利息	27,049
		その他のサービス活動外費用	6,430,651
		サービス活動外費用計(5)	6,457,700
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		9,048,209
経常増減差額(7)=(3)+(6)			24,859,399
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,137,446
		施設整備等寄附金収益	
		固定資産受贈額	105,468
		特別収益計(8)	2,242,914
	費用	固定資産売却損・処分損	
		国庫補助金等特別積立金積立額	3,523,446
		その他の特別損失	177,660
		特別費用計(9)	3,701,106
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		△ 1,458,192
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			23,401,207
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		180,625,699
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		204,026,906
	基本金取崩額(14)		
	その他の積立金取崩額(15)		10,800,000
	その他の積立金積立額(16)		22,500,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		192,326,906

貸借対照表
２０２０年3月３１日　現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
勘定科目	決算額	勘定科目	決算額
流動資産	134,703,370	流動負債	29,491,192
固定資産	717,291,974	固定負債	79,083,888
（基本財産）	(507,353,295)	負債の部合計	108,575,080
（その他の固定資産）	(209,938,679)	基本金	50,322,181
		国庫補助金等特別積立金	390,921,177
		その他の積立金	109,850,000
		次期繰越活動増減差額	192,326,906
		純資産の部合計	743,420,264
資産の部合計	851,995,344	負債及び純資産の部合計	851,995,344

新入職員紹介

４月１日辞令交付式（2020年度採用職員）

新入職員9名・辞令交付式

４月1日、辞令交付式が行われ、保育士８名、学童指導員１名、合計９名が採用されました。

保育士不足はなかなか改善されず、今後の保育園運営や一刻を争う待機児童解消にも甚大な影響が懸念されます。わかば会としても、引き続き保育士の確保に努めて参ります。

また、２０１９年度にキャリアアップ研修を修了した臨時職員１１名を、今年度４月1日付けで、正職員として登用しました。

１１名の正職員化で、正職員と臨時職員の比率が７対３になりました。

新しく園長に就任しました

千葉　勝
うえだ保育園園長

工藤　悟
がんちゃんすくすく
保育園園長

長い間ありがとうございました

2020年３月31日付けで、佐藤秀子さん、川島久美子さん、小綿悦子さんが定年退職されました。

佐藤秀子さん、川島久美子さんは、わかば保育園開園時から３８年もの長きにわたり貢献いただきました。

川島久美子さんからは『たくさんの子どもたち、保護者の方々、職員の皆さん、地域の皆さんとの出会いに感謝します。　今、コロナ騒動等で日々の保育が大変なことと思います。わかば会の一番の応援団として、さらなるわかば会の発展を心からお祈り申し上げます』とのお手紙をいただきました。

長い間、ありがとうございました。

2021年度 職員募集

1 採用予定日　２０２１年４月１日
2 採用予定人員　５名（正職員・臨時職員）
3 職種　保育士・看護師
4 勤務場所
わかば保育園(90名)　盛岡市西松園3-19-1
北松園風の子保育園(60名)　盛岡市北松園4-1-5
本宮保育園(140名)　盛岡市本宮4-38-10
うえだ保育園(110名)　盛岡市高松1-9-43
岩手大学・岩手銀行保育所(12名)　上田岩手大学内
5 応募資格
新規学卒者・保育士資格取得見込みの者
新規学卒者以外・保育士資格を有する者
6 採用面接
日時：２０２０年１０月１０日（土）
場所：わかば保育園
申し込み　２０２０年１０月２日まで履歴書提出
7 待遇
①給与（新規学卒者）
大卒　１９９、４００円（処遇改善手当含む）
短大卒　１８９、４００円（処遇改善手当含む）
②賞与　年２回　2.45か月～4.45か月
③諸手当等
社会保険　業務手当　扶養手当　通勤 手当
処遇改善手当　借上げ宿舎　育英資金返済助成
8 問い合せ
わかば保育園　019-661-3103　山蔭悦子
http://www.wakaba-kai.or.jp

給食室　保育園で人気のおやつ

もち米蒸し

◎材料（５人分）
・もち米　50ｇ
・とりひき肉　100ｇ
・玉ねぎ・人参　ピーマン　各25ｇ
・生姜　ケチャプ

◎作り方
①もち米は水につけておく。
②玉ねぎ、人参、ピーマンはそれぞれみじん切りにする。
③とりひき肉と②を混ぜてタネを作る。
④タネを丸めて表面にもち米をつける。
⑤蒸し器で蒸す。

シリーズ わかばの保育①

わかば保育園開園から40年になろうとしています。「わかばの保育はどのように創られてきたのか」シリーズで紹介します。

1981年4月、わかば保育園が開園。定員90人、職員数20人、うち保育経験者3～4人、その他は新卒の保育士でスタートしました。

多くの保育園が所定（国が定めた基準）の日課に従ってすすめる保育が主流だった時に、わかばの保育は保育の柱に「散歩」を位置付け「自然を取り入れた生の体験」「みんなで話し合うこと」を中心に保育者の主体性と個性を生かした保育をすすめました。

1、松園の自然を満喫して

①森の探検ー博物館の森、四十四田の森、ひょうたん池の森、カモシカ峠の森は、子どもたちにとって日常を忘れさせる神秘の世界です。

木々の形に想像力をめぐらせ「山姥」や「山男」に見立てたり、やわらかな落ち葉に埋もれて遊び、クリ、クルミ、ガマズミ、キイチゴ、クワの実や、大木に上りアケビ採りもしました。

②生き物と出遭うー四十四田の森では、カモシカやイノシシに、北松園ではウサギ、アオダイショウ、アヒル、カモ、サンショウウオ、キジの家族に出遭いました。

生き物たちとの出遭いは　筋書のないドラマ。子どもたちの心を揺さぶり貴重な体験ができました。

③雪も友だちー松園地区は山を切り開いた造成地であちこちでソリすべりを楽しみました。

博物館のスロープ、ひょうたん池側やかもしか峠の斜面等々で、仲間とつながって遊ぶことの面白さを満喫しました。

④春夏秋冬ー自然の恵みを保育にー

春はふきのとうをとりフキ味噌に、ヨモギ汁での染め物体験。初夏にはクワの実を食べ、盛夏にはキイチゴのジャムづくり、秋はアケビのつるやつたを集めてリースづくり、山から拾ってきたクルミは、祖父母から実の取りだし方から食べるまでの全作業を教えてもらい、クルミ餅、五平餅にして食べました。

こうした自由な保育が可能だったのは、保育士同志の伝えあいと阿吽（あうん）の呼吸で連携し、日々の積み重ねが「わかばの保育」を形づくりました。

「わかばの保育」より抜粋

耳よりニュース

盛岡市は、総額20億円規模の新たな緊急経済対策（７月から実施）を発表しました。

保育園や子どもたちにかかわる事業として　①４月２８日以降３月３１日まで生まれる赤ちゃんにも１０万円給付金支給　②児童扶養手当受給世帯に５万円、第２子以降一人につき３万円。更に収入が減少した同世帯には１世帯当たり５万円を支給　③保育士、放課後児童クラブ、児童センター職員スタッフに慰労一時金として1万２千円のプレミアム付商品券を支給　④子ども食堂には開催月につき月額５万円を上限に支給（７月～来年３月まで９か月間）します。

あとがき

７月2日、風の子保育園年長児の合宿に参加しました。

玉山地区外山の「まほら岩手」でのイワナのつかみ取りの取材だったのですが、残念ながら雨で、川をせき止めて行うつかみ取りはできず、急遽、プールで泳ぐイワナの掴み取りになりました。

つかまえたイワナは、はらわたを取り除き調理するのですが、驚いたことに子どもたちは躊躇なくさっさとやってのけたのです。

たくましさ、命をいただくことへの畏敬の念が子どもたちに育っていることに感心しきりでした。日々の保育の力はここにありとあらためてわかばの保育の一端をかいま見た思いでした。　（礼）